

ARTIST COMMONS

一般社団法人アーティストコモンズ

1

VISION

ARTIST COMMONS

アーティストの才能と魅力を広く知らしめ
その付加価値を最大化することにより
エンタテインメント産業・文化振興と
その継承保全に貢献します

2

2019年8月社団化

■社員 (3法人)

- ・一般社団法人日本音楽事業者協会
- ・一般社団法人日本音楽制作者連盟
- ・一般社団法人コンサートプロモーターズ協会

■準社員 (7法人)

- ・一般社団法人日本レコード協会
- ・一般社団法人日本音楽出版社協会
- ・公益社団法人日本芸能実演家団体協議会
 - ・実演家著作隣接権センター
- ・一般社団法人著作権情報集中処理機構
- ・一般社団法人日本音楽著作権協会
- ・株式会社レコチョク
- ・株式会社NexTone

■理事

会長：中井 猛（株式会社スペースシャワーネットワーク 相談役）
 理事長：三浦 文夫（関西大学社会学部 教授）
 ＊法律上の代表理事
 専務理事：松野 玲（株式会社VVJ 代表取締役社長）
 理事：中井 秀範（一般社団法人日本音楽事業者協会 専務理事）
 浅川 真次（一般社団法人日本音楽制作者連盟 副理事長）
 横山 和司（一般社団法人コンサートプロモーターズ協会 常務理事）

■監事

椎名 和夫
 (公益社団法人日本芸能実演家団体協議会
 ・実演家著作隣接権センター(CPRA) 運営委員)

■顧問

中村 伊知哉 (iU(情報経営イノベーション専門職大学)学長)
 菊池 尚人 (一般社団法人CIP協議会 専務理事)
 竹田 秀一 (株式会社フェイス 執行役員)
 尾崎 常道 (株式会社ネクストウェーブ 代表取締役)
 福井 健策 (骨董通り法律事務所 弁護士)

3

■幹事

小山 雄司（一般社団法人日本音楽事業者協会
 知財法務部 音楽管理課 課長）
 金井 文幸（一般社団法人日本音楽制作者連盟 専務理事）
 平岡 通孝（一般社団法人日本音楽制作者連盟 企画調査部）
 今泉 裕人（一般社団法人コンサートプロモーターズ協会 事務局長）
 石川 篤（一般社団法人コンサートプロモーターズ協会 総務委員）
 畑 陽一郎（一般社団法人日本レコード協会 常務理事 事務局長）
 生沼 士郎（一般社団法人日本音楽出版社協会
 業務執行理事 事務局長）
 千葉 浩（一般社団法人著作権情報集中処理機構 常務理事）
 宇佐美 和男（一般社団法人日本音楽著作権協会 常任理事）
 山崎 浩司（株式会社レコチョク 常務執行役員）
 荒川 祐二（株式会社NexTone 代表取締役COO）
 後藤 匡（Sync Music Japan 運営事務局長）

■会員社

株式会社IPG
 株式会社イープラス
 NTTスマートコネクト株式会社
 株式会社エブリィ・エンタテインメント
 株式会社エム・データ
 株式会社KADOKAWA
 KDDI株式会社 (株式会社ナターシャ)
 コミュニティ・ネットワーク株式会社
 株式会社スペースシャワーネットワーク
 株式会社テイパーズ
 ぴあ株式会社
 株式会社Fanplus
 株式会社フェイス
 株式会社radiko
 株式会社ローソンエンタテインメント
 ヤフー株式会社
 ※50音順 2021年7月時点

4

沿革

基盤整備の検討

現行の会員、準会員、幹事を中心にエンタメ（特に音楽）を中心としたDXの基盤整備に関する検討を開始

ACID、AC-API開発

コンテンツを生み出す人をキーコードとして、様々なサービス連携が簡単に行えるという仮説をもとに、ユニークなID (ACID) の付番と連携API (AC-API) を開発

- ・ ACID付番対象の拡大
- ・ マーケット拡大の実証 (ライブ、物販)
- ・ 写真プロフィール提供の開始
- ・ ラジオ分野での本格利用へ

2014年 ... 2018年 2019年 2020年～現在

実証実験

radikoとプレイガイド4社（オンエア楽曲からライブ情報への自動リンク）の実証実験を行う

一般社団化

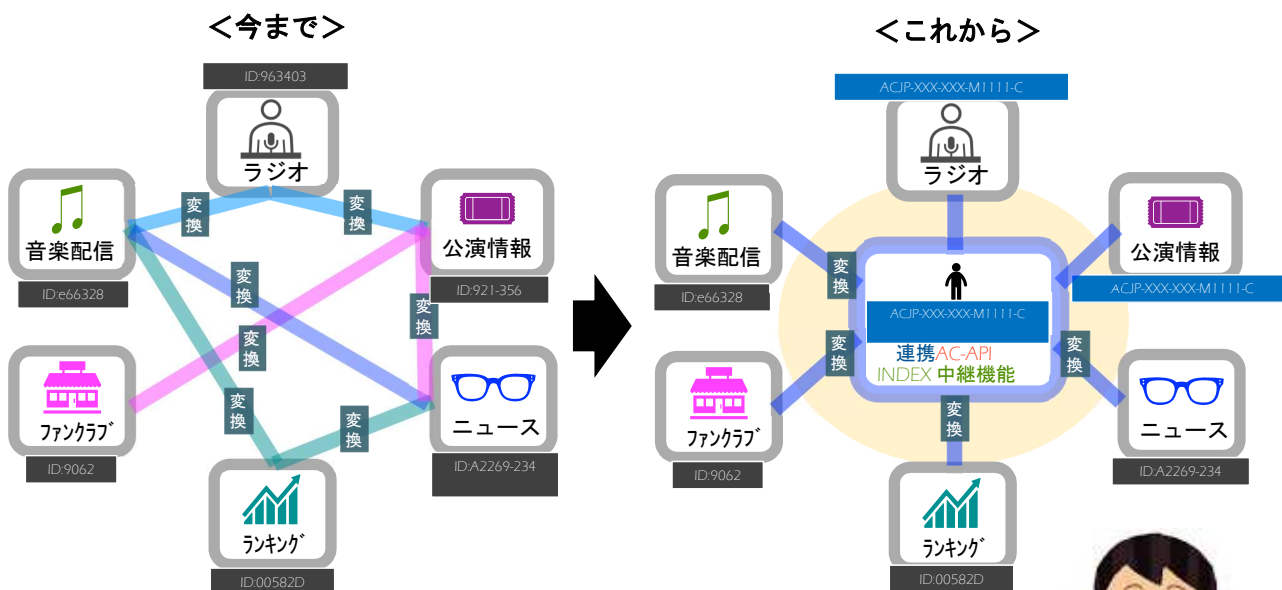
仮説の実効性が確認できたため、責任ある執行体制の確立のため一般社団化

- ・ テレビ出演者捕捉
- ・ ネット配信サービスの権利情報把握

ACIDとAC-API開発

2014年より、現行の会員、準会員、幹事を中心に、エンタメ（特に音楽）を中心としたDXの基盤整備に関する検討を開始。

コンテンツを生み出す人をキーコードとして、様々なサービス連携が簡単に行えるという仮説をもとに、ユニークなID (ACID) の付番と連携API (AC-API) を開発



AC-IDが中間IDとして機能することでサービス連携の手間・コストが軽減される



radiko <https://radiko.jp/> のオンエア情報欄に、イープラス、CNプレイガイド、ぴあ、ローチケの公演情報を表示する試験サービスを実施中。
公演チケットは各プレイガイドサイトで購入することができる。
今後は、写真、プロフィール、アーティストグッズなどとの連携についても検討中である。

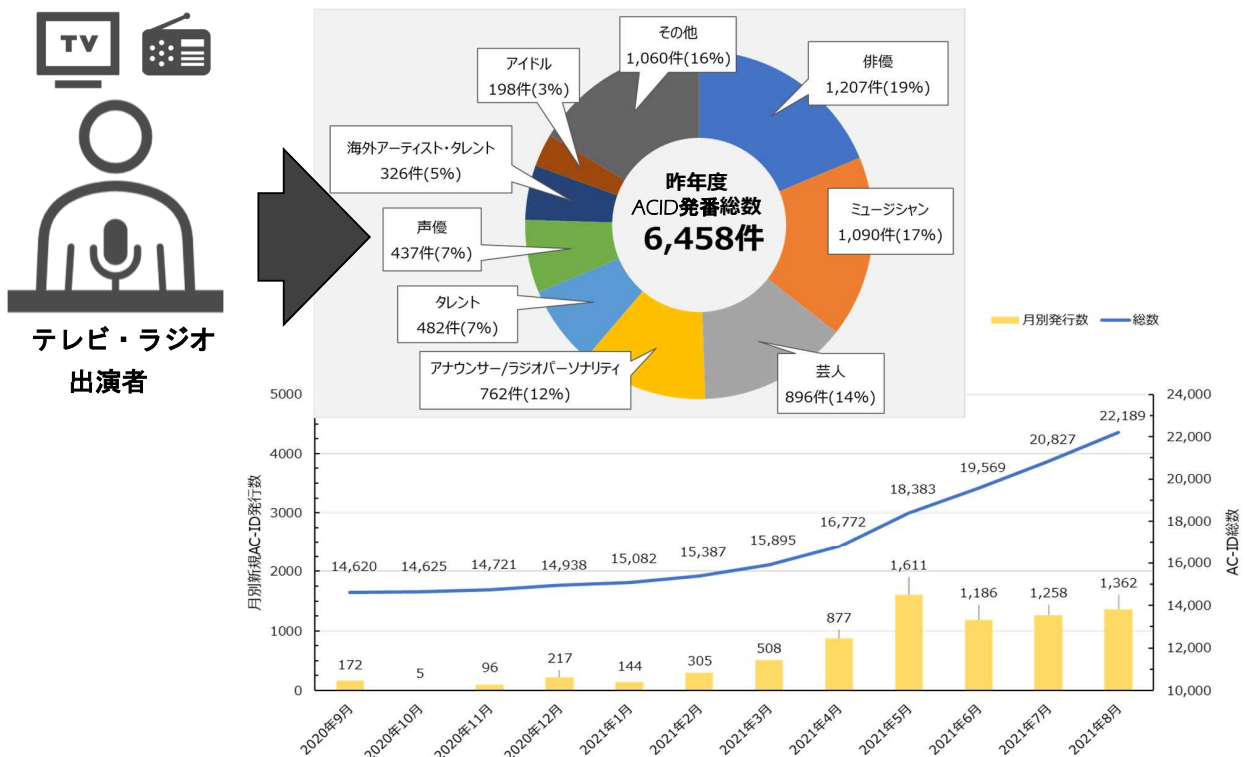
radikoでのライブ公演情報の連携事例



7

ACID付番対象の拡大

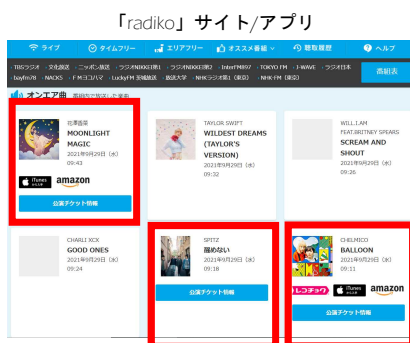
ラジオ、テレビに出演した人は、ジャンル問わず ACIDを発番共通IDとして、さまざまなWEBサービスや、既存IDとも連携



8

マーケット拡大の実証

会員社のメディアサイトでアーティスト・タレント情報(写真、プロフィール、告知情報、ラジオ出演情報、公演チケット情報、物販情報※準備中)の自動連携を実施。
「スペースシャワーTV」サイト/アプリ 「ホットスタッフプロモーション」



9

公式アーティスト写真・プロフィールの提供

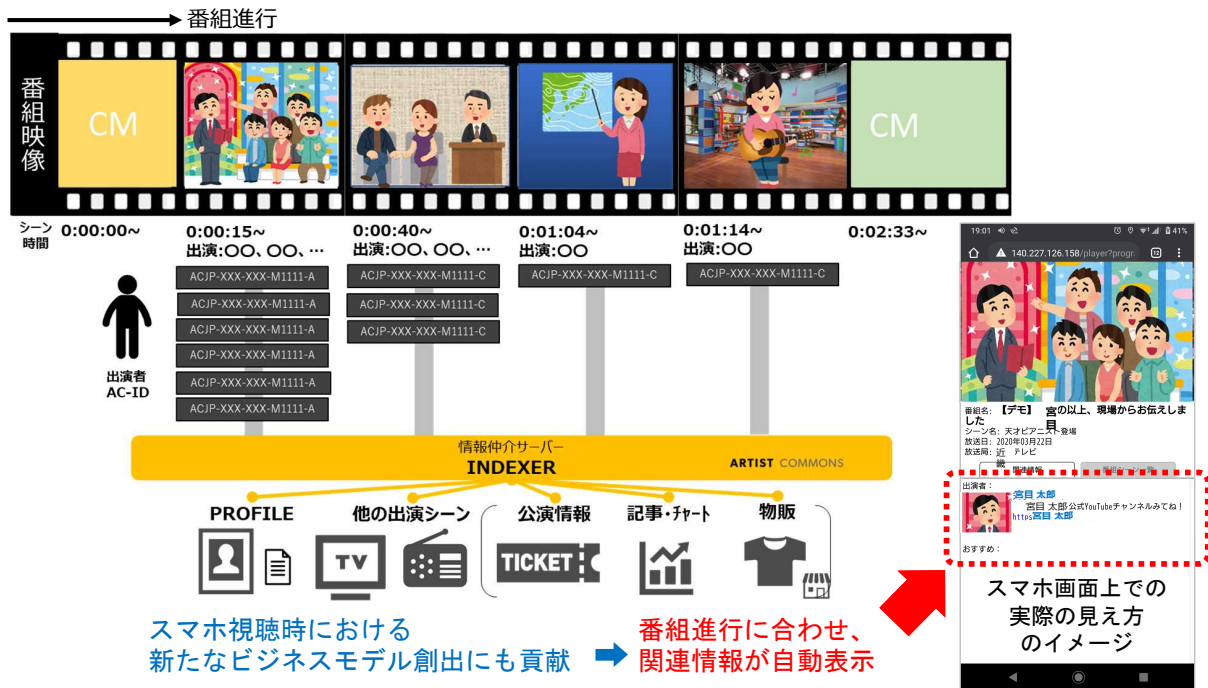
アーティスト commons として、公式のアーティスト写真、プロフィールの提供を開始。
各プロダクションに、Web上の管理画面から直接アップロード・更新する環境を配布。
利用社側はACIDをキーに写真、プロフィール、告知情報を自動取得できる。



利用社Webサイト

テレビ分野での利用拡大に向けて

実演映像のメタとしてACIDを自動で付加する方法の検討や、それにより配信時において、関連情報への自動での送客を実現したり、実演家の出演シーンや再生回数等を迅速かつ正確に把握する仕組みを実現する検証を進めている。



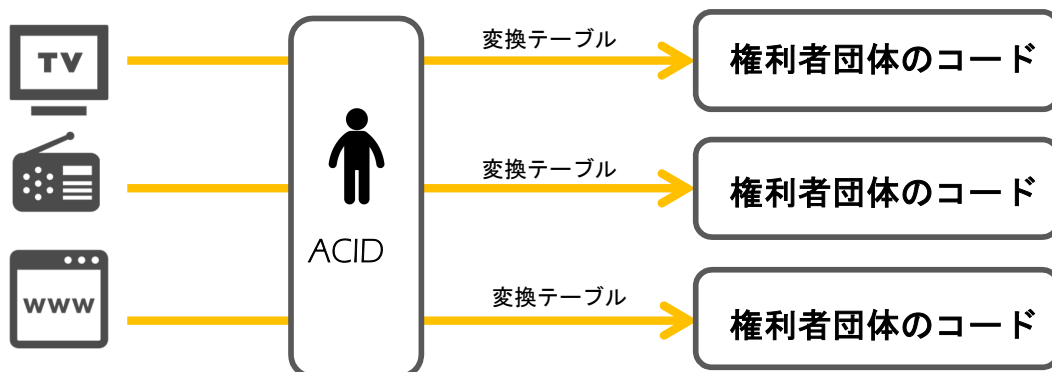
11

中間IDとしての位置づけ

テレビ、ラジオ、各種WEBメディアの出演者IDとACIDが紐づき、また、権利者団体のコードとACIDが、変換テーブルを介して紐づくことにより、ACIDは中間IDとして機能する。

※権利者団体のコードは個人情報保護の観点から明らかにしていない

ACIDを利用することにより、サービス連携(紐づけ)と個人情報保護の両立を実現



✓DB連携を加速することで、探索コストの軽減にも貢献

12

おわりに

アーティスト commons は様々なサービスの自動連携を実現する情報基盤の整備を進めてきた。今後は、文化資産の保全、新しいメディア環境における権利情報の捕捉事業にも着手する予定である。

具体的には、日本のポピュラー音楽の文化資産を保全、蓄積、整理、継承するためのデジタルアーカイブ構築をステークホルダーに働きかけていく。

一方、メディア環境の変化に伴って権利者の意識も変わりつつある。創り出したコンテンツが死蔵されることなく幅広く利用され、その対価が適切に配分されることを望む声が高まりつつある。

そのためには、ブロックチェーン技術などによって利用状況が正確に捕捉され、そのデータに基づき公正に権利者に配分されることが求められる。アーティスト commons は制作現場の利便性（ACID自動付与）、サービス事業者のマーケット拡大（AC-API）、ユーザービリティ向上、権利分配の基となる利用データの捕捉、最新のデジタル技術によるアーカイブ構築など、エンタテインメント分野全般のDXを推進する情報基盤の提供を目指している。